

平成15年度一般会計・特別会計の決算認定

一般会計

(歳入) 382億3,170万円

(歳出) 374億4,539万円

となつています。

1に近いほど財政力が強いとされてい
る財政力指数は、前年度に比べ当年度は0・001上昇し、平均0・64)

特別会計

国民健康保険事業

(歳入) 68億0,256万円

(歳出) 67億0,486万円

決算収支の状況は、歳入歳出差引額9,770万円の黒字決算になつています。実質単年度収支は前年度実質収支を差引いて基金積立金を黒字要素と計算すると6,167万円の黒字になります。被保険者数は、全体では1,001人増で28,861人になり、人口に占める割合は32・8%です。

老人保健事業

(歳入・歳出)

75億7,282万円

医療受給者数は、前年度に比べ193人減で9,830人になり、人口に占める割合は11・2%です。

介護保険事業

(歳入)

36億9,294万円

(歳出)

36億9,080万円

被保険者数は、前年度に比べ745人増で43,849人になり、人口に占める割合は49・8%です。要介護・要支援認定者は2,377人です。

公共下水道事業

(歳入)

44億0,455万円

(歳出)

41億4,800万円

15年度末での普及率は82・7%、水洗化率は94・4%。

農業集落排水事業

(歳入)

4億0,813万円

(歳出)

4億0,812万円

14年度をもつて全ての計画区域

の整備事業が完了しました。15年度末での水洗化率は86・9%。

簡易水道事業

(歳入・歳出) 1億5,196万円

平成14年度に上部・南部大村地区が水道事業に統合されたため、残りの3地区(北部大村・東部大村・南川内)で比較すると、給水人口及び給水戸数は前年度に対して微増となつています。15年度末での水洗化率は74・9%。

補正予算

一般会計

歳入歳出にそれぞれ3億6,169万1千円を追加し、予算総額が318億8,066万9千円となりました。

主な内容は次のとおりです。

(は減額)

議会費

(268万3千円)

・給与費等の減

総務費

(2,503万5千円)

・給与費等の減

民生費

(4億1,205万3千円)

・給与費等の減

・生活保護費の増
衛生費 (463万6千円)
給与費等の減
農林水産業費 (885万7千円)

・ため池等整備事業(野岳地区)

・松原新漁港航路浚渫工事

・商工費 (971万7千円)

・給与費等の減

・生活交通バスの利用実態調査事業

・中心市街地活性化に関する市民意識調査事業

・竹松商店街街路灯設置事業

土木費

(5,450万9千円)

・給与費等の増

・公共下水道事業会計への繰出金の減

消防費

(704万7千円)

・10分団荒瀬詰所の用地購入

教育費

(545万6千円)

・給与費等の減

・教員補助員派遣事業

・校舎等整備事業

・災害復旧費 (542万4千円)

・給与費等の減

・教育施設災害復旧費(単独)